

第45回夏季大学「新しい気象学」開講のお知らせ ～気象観測技術の最前線～

教育と普及委員会

主催：(社) 日本気象学会
共催：筑波大学計算科学研究センター
後援 (予定)：気象庁, 日本地学教育学会, (財) 気象業務支援センター, 日本気象予報士会

日本気象学会は、最新の気象学の普及を目指して、小・中・高等学校の先生や、気象を学ばれている学生・一般の方を対象に毎年夏季大学を開催しています。

今年のテーマは、昨年に引き続き「気象観測技術の最前線」です。近年、科学技術の進歩にともなって様々な新しい気象観測技術が生み出され、日々の天気予報や大気環境の監視等に活用されています。また、多くの観測データは、ナウキャストや数値予報といった気象予測にとって、なくてはならないものとなっています。このような背景から、今年度の夏季大学では気象観測についての基礎を幅広く学ぶとともに、最新の観測技術や観測データを利用した最新の予測技術について、講義を通して学びます。

○日程, 講義題目, 講師

2011年8月6日(土)

10:00~11:30 「(仮) 地上観測総論」

近藤 純正 (東北大学名誉教授)

11:30~13:00 「気象庁の地上気象観測測器」

川村 裕志 (気象庁観測部観測課気象測器検定センター)

14:00~15:30 「降水・雷・竜巻発生確度ナウキャスト」

瀧下 洋一 (気象庁予報部予報課)

15:30~17:00 「GPSによる大気計測とデータ同化」

小司 禎教 (気象研究所)

2011年8月7日(日)

10:00~11:30 「(仮) 次世代の衛星観測について」
 沖 理子 (JAXA)

11:30~12:30 筑波大学ギャラリー見学

13:30~15:30 JAXA 見学

(仮) 付きのタイトルは仮タイトルです。

○講義会場

筑波大学計算科学研究センター国際ワークショップ室 (茨城県つくば市)

会場の地図は、筑波大学ウェブサイト (http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html#to_tsukuba) をご覧ください。

○募集対象人数

定員70名程度

○受講料 (消費税含む)

5,000円 (学生 3,000円)

参加申込受付後、郵便口座をお知らせしますので、そちらに受講料の振込をお願いします。

○講義資料

受講者の方には、事前に講義レジュメをオンライン配布します。また、開催後に、講義まとめ録を「教育と普及委員会」ウェブサイトに掲示する予定です。同サイトには、過去の資料が公開されていますので、ご覧ください。

○参加申込方法

ウェブ・フォームによるオンライン受付を原則とさせていただきます。詳細は、「教育と普及委員会」ウェブサイト (<http://wwwsoc.nii.ac.jp/msj/kyoi/kuhukyu/>) をご覧ください。インターネットへの接続環境をお持ちでない方は、下記事務局にお問い合わせください。

○参加申込開始日

2011年6月20日(月)

定員になり次第、締め切らせていただきます。

○お問い合わせ先

気象庁内 日本気象学会事務局

Tel: 03-3212-8341 (内線2546)

Fax: 03-3216-4401